

# 地震発生!



## 地震で破損した水道施設・水道管

大規模な地震が発生すると地盤の変動などによって、水道施設や、埋設された水道管などが破損することが予想されます。



## 給水車に列をなす人たち

水道管が破損して断水になると、飲料水、トイレなど生活用水が不足し、医療活動、消火活動に支障をきたします。また、施設の破損により、二次災害が懸念されます。



## 液状化によるマンホールの浮上

下水道管の破損によって下水があふれ、公衆衛生上、重大な被害を引き起こす恐れがあります。

# ((( 水道・下水道の震災対策 )))

沖縄で自然災害といえば、もっぱら台風で、「沖縄には地震がない」と思われていますが、中南部には活断層が存在し、本市でも大きな地震が起こる可能性があります。そこで那覇市では「第4次那覇市総合計画」に基づき、災害に強い水道施設・下水道施設の整備、災害時のライフラインの保全及び早期復旧を図り、安心して暮らせるまちをつくります。

### 耐震性の高い材料の採用



水道管路の新設・改良工事の際には、耐震性の高い材料を使用したり、配水池緊急遮断弁を設置するなど、災害時の被害が最小限になるような施設整備を行っています。  
写真提供:日本ダクトイル鉄管協会

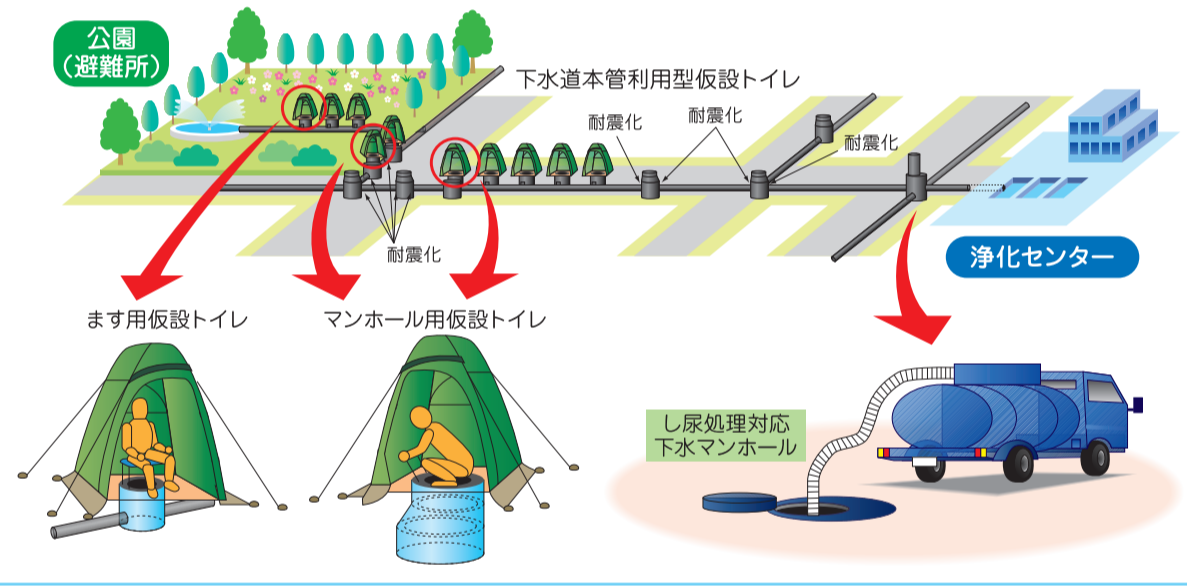
### 訓練の実施



応急給水、応急復旧に使用する資機材を備蓄し災害に備えます。また、危機管理計画を整備し被災を想定した訓練を実施します。

### マンホールトイレシステムの検討

マンホールトイレシステムとは、耐震化された下水道管路のマンホールの上に簡易的な囲いを設置して、災害時の仮設トイレとして使用できるものです。市では、災害時に公衆衛生を確保し、市民のみなさまの健康を守るとともにスムーズな復旧活動を行うためこのシステムの導入を検討しています。



## 第2回 モニター会議



4種類の水(生水の水道水・塩素を除いた水道水・ミネラルウォーター(2種類)を飲み比べる「利き水」をおこないました。

**利き水後の感想**

このような形で飲み比べたことがないので、貴重な体験でした。この水も同じくらい気遣われて生成された水であることが味わえました。

## 第1回 モニター会議



モニターの職務説明や、局施設「みずの資料館」、「上水道監視室」、「水質試験室」の見学、懇談会などを行いました。

## 上下水道施設見学



県内の上下水道施設(泊配水池→北谷浄水場→海水淡化センター→倉敷ダム→那覇浄化センター)を巡り知識を深めました。

**施設見学の感想**

すべての施設を見学して、毎日安全に水を使うことに改めて感謝しました。施設を管理している方々、ありがとうございました。水不足と闘ってきた沖縄の歴史が水質の向上につながっていることにも感動しました。

このような形で、1年を通じてモニター活動を行っています。モニターについては、問い合わせ先は、こちら

**〈総務課〉**  
☎941-7801

平成19年度 上下水道モニター活動報告